



2020年度 評価

① WWF ジャパン チェックリスト評価

確認手段としてWWFジャパンのチェックリストを使用しています。

自己評価					
※調査対象は、ミサワホームの木材調達指針と同じく、木質系工業化住宅の構造体のみです。 ※年間木材使用量：117,918 m ³ /年、年間使用原木量：235,835 m ³ /年					
コロナ禍で現地調査が出来ない為、得点に不安がありましたが、リモート調査を活用し得点UPに繋がりました。サプライヤーの中では原木供給者にインタビューで保護価値の高い森林を改めて確認できました。引き続き合法性木材の調達に努め、お客様に安心安全の住まいを提供します。					
チェックリスト評価	樹 種	国 名	使用比率 (%)	チェックリスト評価	
				(樹種別) 得点	個別評価
合 板	クルイン	インドネシア	1.85%	100.0	S
	ヒノキ	日本	0.28%	76.9	B
	セラヤ	マレーシア	0.10%	75.2	B
	ダグラスファー	カナダ	15.68%	71.0	B
	カラマツ	ロシア	11.58%	70.1	B
	カラマツ	日本	1.19%	67.1	B
	スギ	日本	1.18%	67.0	B
計			31.86%	72.2	
芯材	スプルース	フィンランド	32.34%	81.7	A
	ホワイトウッド	ドイツ	2.48%	75.8	B
		スウェーデン	0.35%	68.9	B
		フィンランド	3.57%	68.3	B
	トドマツ	日本	3.91%	65.2	B
計			42.65%	78.6	
LVL	ポプラ	中国	4.06%	68.4	B
	カラマツ	ロシア	3.06%	68.1	B
	カラマツ	日本	0.24%	64.8	B
	スギ	日本	3.23%	43.7	C
計			10.59%	60.7	
集成材・その他部材	ホワイトウッド	ドイツ	0.09%	75.8	B
		フィンランド	8.24%	67.5	B
		スウェーデン	0.11%	65.9	B
	ベイヒバ	カナダ	0.38%	69.2	B
	スプルース	フィンランド	0.91%	69.2	B
	カラマツ	日本	0.91%	69.2	B
	トドマツ	日本	4.26%	65.9	B
計			14.90%	67.4	
総合計			100%	73.0	B

② WWF ジャパンのコメント

ミサワホームの木材調達に関する2020年度評価は、WWFジャパンの「森と人をつなげる“チェックリスト”」による評価で73.0点（B評価）となり、2019年度比で0.8ポイント増となりました。一部の材料ではFSC認証材の扱いが減少しましたが、全体の認証材比率は増加しています。また、南洋材についてはFSC認証材を中心に調達するほか、高リスク産地を避けるなど、引き続きリスク管理も追求しています。

ミサワホームの木材調達は、サプライヤーへの丁寧な説明を通じた詳細な情報収集が特徴です。コロナ禍で現地調査が出来ない中でも、リモート調査を活用して原木サプライヤーへの聞き取り調査を実施し、国際的にも重要視されている「保護価値の高い（HCV）＊」森林についても確認をしています。今後もますます、社会の要求に合致した木材デューデリジェンスをすすめ、業界全体をリードしていくことを期待します。＊ High Conservation Value：HCV。社会的、文化的、環境的に重要な場所を特定し、その生態的、社会的価値を維持し、森林資源利用の持続可能性を保証するためのツール。

WWFジャパン 森林・野生生物室 森林グループ長 相馬 真紀子（そうま まきこ）